

「名水サミット in にしかわ」にかかる期待を込めた提言

西川町のHPトップに「『名水サミット in にしかわ』開催決定／2026(令和8)年9月25日(金)」とあります。



湧き水・名水と言えば、それをPRする処は全国どこにでもあるでしょう。吾が山形県内では鳥海山麓が有名です。

その中でも、西川町が自慢できる400年の時を経た「400年ロマン」の名水は、私達[TーFMO&T・KーFriends]活動のテリトリー月山東南エリア「高・清フレンドリー古道」域を水源として、かつ当域に湧き出る水と、そして、地元人の智的創造が生んだ絶品酒「月山ビール」との絶妙な相性が浮かびました。まさに、時宜を得たグットタイミングでの名水サミットになるのではないかと、勝手に想像を膨らましております。

来年、2026(R8)年9月25日(金)が、期待感を込めてとっても楽しみです。

その時に、「あいべ」における平場の行事だけではなく、合わせて「名水」の水源・源流・古里・生みの親を訪ねるイベント、例えば――

- ・現地に足を運んだ人自らがモデルとなる撮影会（静止画・ドローン撮影動画のコンテスト）
- ・西川町謎解きゲーム（ハンターズヴィレッジ）の“なぞ”（空白）の初源解明

- ・ T・K－Friendsの地元メンバーを加え開かれたトークセッション——パネルディスカッション、シンポジウム、フォーラム、ワークショップ等の様々なスタイルがあるかもしれない。——を開催
- ・ 健脚者のみによる高・清の両古道往復マラソン
- ・ そして、夕方からは、あいべを会場にごちゃ混ぜ交流会

などを企画して欲しいものです。

そこで、西川町役場に提言したい！

T・K－Friendsの地元メンバーには、当域の地勢・史跡等を知り尽くした創造力豊かで情熱的・繊細な企画屋、有言実行力旺盛な行動派がおります、大器晩成型もいます。その「高・清」山塊イベントの創造について、そのような破天荒・希有絶倫の人がいますので、西川町地域おこし協力隊との協働をも模索するなど、タッグを組む、あるいは、任せるという施策を打って欲しいと祈願しつつ提言いたします。 町は骨格のみに係わり、地元の稀有な有志・人財を発掘し、開花させるという育成視点を期待しています。

来年の話をすると鬼が笑うとか何とか言われますが、”鬼も参った”と言わせるくらいの超大夢・超大望もいいのではないですか！

以上を踏まえて、次頁以降に係る魅力を紹介するための関連シートを作ってみました。

T・K－Friends事務局担当
(よそ者の大沼香)



西川町HPより

月山、万年雪。
四百年の時を経て、
今、湧き出る。





名水サミット

inにしかわ

第40回全国水環境保全市町村連絡協議会全国大会

山形県のはば中央、月山町をもとに広がる西川町。
深い峡谷に囲まれ、清らかな湧水とともに生きてきた小さな山の町。
月山・湯殿山・宮城山を結ぶ山頂三山信仰の聖地として栄え、
自然の恵みでもてなす文化が今も息づく。
名水百選「月山山麓湧水群」、その源にたもたは、町の誇りであり、
名水の町、西川を象徴しています。

開催日

2026
9/25金

会場

山形県西川町
交流センターあいべ

 紹介動画
はこちら


てんくうしゃっきょう
『天空石橋』と月山ビールと湯殿山

1. 月山「天空石橋」二つの切り口！

「天空石橋」について、コンパクト版として新たな視点から解剖する。

(1) 発見日

2022(令和4)年9月10日(土) 14時30分頃

(2) 「天空石橋」の正確な意味合いは次のとおりで、この3点(3名)は切り離せない。

○気づき・発見

宮林良幸^{よしゆき}が最初に気づき、同行していた大沼香と共に発見した。

○命名

大沼香^{かおる}は、一目、天空に架ける石橋と直感し「天空石橋^{しゃっきょう}」と名付けた。

○意味付け

下山後、後方支援の布施範行^{のりゆき}からはもう一つの深意味、羽黒山中興の祖「天宥」の天と、湯殿山開祖「空海」の空とを重ねられた。(天宥と空海は活躍の時代は違えこそ、出羽三山を語るには欠かせない双璧である。)

(3) 発見の動機

従来は、万年雪と称された「大雪城」上に誘導ロープを張っていた。しかし、雪が解けると大きな岩が表れ、中には鋭角的なものも露出し、これらを飛び跳ねるように渡って行く、岩が濡れた時は滑る等の区間となることから、融雪後は危険地帯に変化していた。その安全向上対策のための回避ルートを探り、ケルンの積んである旧道ルートを調査する中で発見したものである。

2. 【一つ目の切り口】

「天空石橋」のそもそもの不思議と謎？

(1) 地理的特徴

- ・¹山頂から(まで)約2.5km、標高約1,733m地点の豪雪地帯に造立されている。
- ・²「大雪城」の融水が一番多く、その水が遅くまで流れる小川に架けている。
- ・³国立公園、特別保護区内にある。

(2) 構造上の特徴

- ・¹長さ約7.5m、高さ約1.2m、幅約1.2mの明らかな人為的・人工的石組みである。
- ・²人工物の鉄線などによる捕縛・金縛りはなく、また、コンクリート等の固着剤は一切使用していない。
- ・³しっかりと石を噛み合わせており、風雨、積雪・残雪の圧力に耐えて少しも崩れていない。

(3) 発見時の感想

とても興奮し、二人で「これは何だ？」と驚愕のあまり声も出なかった、初めて出会った時、想像力がまったく湧かなかった。

(4) 最大の疑問

誰が、いつ、何の目的でこれを造作したのか？ また、この場所で、かつ、この方角でなければならなかった理由は何なのか？ 今以って不明である。

(旧道ルート上にあって、ここ周辺(一帯)は、樹木はまったく無く、石ころが堆積・散乱している道において、こんなものはなくとも簡単に歩ける・往来できる状況にある。)

(5) 疑問解消のための聞き取り

今に生きる地元の長老、地元の土木工事関係者、月山小屋関係者、羽黒町手向宿坊関係者、出羽三山社務所などに、それぞれの人脈で聞き取りを行ったが、

・“初めて知った”というのが大半

・“そう言われれば、見たことがあるなあ”というのは数名？(しかし、問題意識を感じなかった。)

いずれにしても、これだけ目立つ造立物について、現時点でこれらの疑問に答える客観的証拠は何一つ見付かっていない、声を挙げないのが不思議である。

(6) 造立目的に係る T-FMO の捉え方 (※布施の F、宮林の M、大沼の O)

俯瞰大局すれば、修験道の宗教観・思想哲学を深層に、宇宙すなわち天空と、大地の恵みに対する人間の感謝を表す、すなわち、天地人三位一体祭儀の舞台に見立てたのではないかと想像している。

具体化すると、

□A；出羽三山総奥の院「湯殿山(御宝前)」を拝む(観念遙拝)祈りの舞台

□B；「大雪城」を水源基点と見立て、『水神様』籠る源流聖地への感謝を捧げる祈りの舞台

□C；『水』に対する堰堤機能(水量調節・洪水防止に係る一時貯水機能)を託す祈りの舞台

□D；水垢離(神仏祈願に当たっての禊の一つとして、心身を清めるために浴びる水の溜め池と見做した)の舞台

□E；小屋用の生活飲料水一時的貯水(貯蔵)施設(水は生命維持装置の一つ)

「月山 天空石橋」に対する総括評価は次のとおり。

以上を全体総括の上で、今となっては、

✓ 「天空石橋」は周辺景観を損ねる等の実害や環境への悪影響を齎すものではなく、一方で人工的なものである。

✓ 今になつては、過去に如何なる事情があつたにせよ、過去の事情を詮索する、爪を立て咎める必要はない。

✓ 謎と不思議が多過ぎるが故に、むしろ、様々な謎解き想像力と知的好奇心を刺激する素材の宝庫であると捉える。

よって、今日においては新しい意味付けをすれば良い、今日的価値を付加すれば良い。設置目的の経緯は如何様であれ、明白でない設置目的はさておいて、謎と不思議がギュッと詰まったロマンを掻き立てる素晴らしい貴重な歴史遺構である。(産業遺構とは見なさい) ここは「月山水源聖地Gスポ」、または、「高清水通り“謎の源流Gスポ”」、あるいは、「月山“謎の源流Gスポ”」(Gは great、スポは spot)と通称する。

3. 【二つ目の切り口】

月山ビールの命『水』の古里を訪ねて見よ！

「①月山ビール」と「②天空石橋(大雪城)」と③湯殿山との親和性、必然的結合性

その1「①月山ビール」と「②^{しゃつきょう}天空石橋(大雪城)」

2025(令和7)年8月23日(土)西川町謎解きゲーム(ハンターズヴィレッジ)撮影クルー「Creator's NEXT」(窪田望社長以下4名)を案内し、「月山 天空石橋」に行ってきた。

その「天空石橋」に案内することになった際、西川町地ビール「月山ビール」の持参をお願い(提案)し叶えられた。

☒一つ目のシーズ

西川町地ビール「月山ビール」に係ること。いわゆる、キャッチコピー「**製造水400年ロマン!**」とのつながりのこと。



こだわり(1) - 名水百選・月山の湧水を使用

月山は、10メートルの積雪も珍しくない、日本有数の豪雪地帯です。その豊富な雪から生まれた雪解け水は、300~400年の長い年月を経て大地に浸透し、やがて湧水となって戻ってきます。

月山の湧水は一般的な地下水の水温よりもずっと冷たく、ミネラルを適度に含んだ口あたり良い軟水で、日本の名水百選にも選定されています。



〈5〉月山自然水製造販売事業

広大な月山の中腹から湧き出る自然水は、300年から500年の歳月をかけて湧き出ています。この湧水が町の上水道の水源地、量も1日2,400tに及び、常時500tの余剰水がでています。この余剰水を利用して、昭和58年12月「月山自然水」として発売しました。

平成4年度からは、第3セクター西川町総合開発株式会社に移管し、平成9年度には月山銘水館に工場を移転して非加熱処理による製造を開始しました。

平成24年度の月山自然水売上本数(1㍻換算)は、217,525本です。

西川町の関係資料に図・1のとおりフレーズが出て来る。
着目すべきキーワードは、“月山↓豊富な雪↓雪解け水↓長い年月↓浸透水・湧水↓自然水”である。

図-1

☒二つ目のシーズ

その命の水の古里は「天空石橋(大雪城)」と係ること。ビール美味しさの秘訣(命)は水、しかれば、その浸透水(湧水)の水源地はどこなのかとなれば、それらのキーワードを統合的に追求すると、図-2のとおり月山積雪(残雪)地帯において、最も遅くまで残る象徴「大雪城」に行き着き、その核が「天空石橋」である。

地元西川町を含め山形県内陸部の人達は、遅くまで残る雪(大雪城)を、昔から五穀豊穰・子孫繁栄の源(魔法の水の古里)として崇め祀ってきた。



山形市内（山形平野・村山平野）から見た月山

「月山ビール」水源と醸造所

※リスクマネジメントの観点から湧水点は明示していない。

図－2



黒川雄斗さんが撮影した一コマ

図－3

この水源象徴が「^{しゃっきょう}天空石橋」！
 ここが「月山ビール生まれの古里」！
 この水の魔法が「月山ビール」

そこで、深秘漂う月山謎の源流Gスポ「^{おおゆきしろ}天空石橋」で、「大雪城」をバックに「月山ビール」を飲む
 構図の写真を撮りたい！と思い続けていた、私のかねてからの願望の一つであったことが、ここにおい
 て、図－3のとおりプロの映像クリエイターから実現して貰ったことはこの上もなく感慨深い。

これらは単なる風景写真ではないのだ、この一時の風景写真で終わらしてはならないのだ。

言わずもがな、ビール醸造において、全体の約90%を占める主要な原料であるその水が、ビールの美味しさを命運付ける重要な要素である。一方で、万物の霊長たる人間の生命初源の胎児は、女性子宮内の液体は水（羊水）で発育する。共通は必需の水である、その水の発生源が、「天空石橋」をシンボルとするここ「大雪城」である。

ここにおいて、**月山ビールと、重要原料である水の生みの親（源）とのご対面を実現させたのだ**。月山ビールが工場（胎内）にいた時に、“私はどこから来たのだ？”と自問していたのだ。その生みの親との対面を、400年の時をワープして実現させた、その自問と悩みを解決に至らしめたのだ。

謎満載ロケーション「天空石橋（大雪城）」と、どんな地下水脈を経て、どんなものと出会って400年の時を経て麓に湧水させたのかという不思議満載のカップリング・マッチング完成（達成）?!、

その2「^②天空石橋（大雪城）」と^③湯殿山

図－4を以って月山・湯殿山との位置関係・結び付きを再確認する。



湯殿山大権現・月山大権現がお守りする秘所聖地大スペクタクル

出羽三山総奥の院
湯殿山（御宝前）

万年雪と讃えられた
「大雪城」
源流聖地

月山ビールの水源
(実用面)

水神様の籠る秘所
(信仰面)

《シンボル》
「天空石橋」

四百年の悠久
紆余曲折の水脈
大雪城の残雪を
適時に溶かす力は
御宝前の熱量だ！



キーワードは、

天に誘う「^①奇異霊妙 湯殿山（御宝前）」

大地の水源symbol「^②月山 天空石橋[大雪城]」

人智の傑作「^③創造酒 月山ビール」

この「天地人」三位一体構造（華嚴界シーズ胎動）が
3点セット（^{①②③}）を誕生せしめた
壮大スキームが今明かされた？

・ところで、私は現地案内・説明下、まとめの意味で、“ここ現地に来て肉眼で確かめ、皆で寄り集まって、想像力たくましく、好き勝手に意味付け・価値付けを図って、それぞれの物語を創っていくというのはとても面白い謎解きシーズとなるのではないか。”という趣旨で結んでいたが、前記の窪田さんは、ご自身の言葉で「自分の考えたことが絶対だということではなく、絶対ではないということ、むしろ、他の人が証明してくれることにも、喜びを感じるという、ことに余白を感じる」と置き換えてくださった。素晴らしい表現にしてくれた。謎を余白と捉えてくれたのだ。

・そう、そもそも、この「**天空石橋**」とは何ものなのか？

・まだまだ、なぞだらけ、何も解決していないのだ。それが余白だ。余白を埋めるのは、あなた自身なのだ。余白のキャンバスに如何様な彩で何を描くかはあなた次第だ！

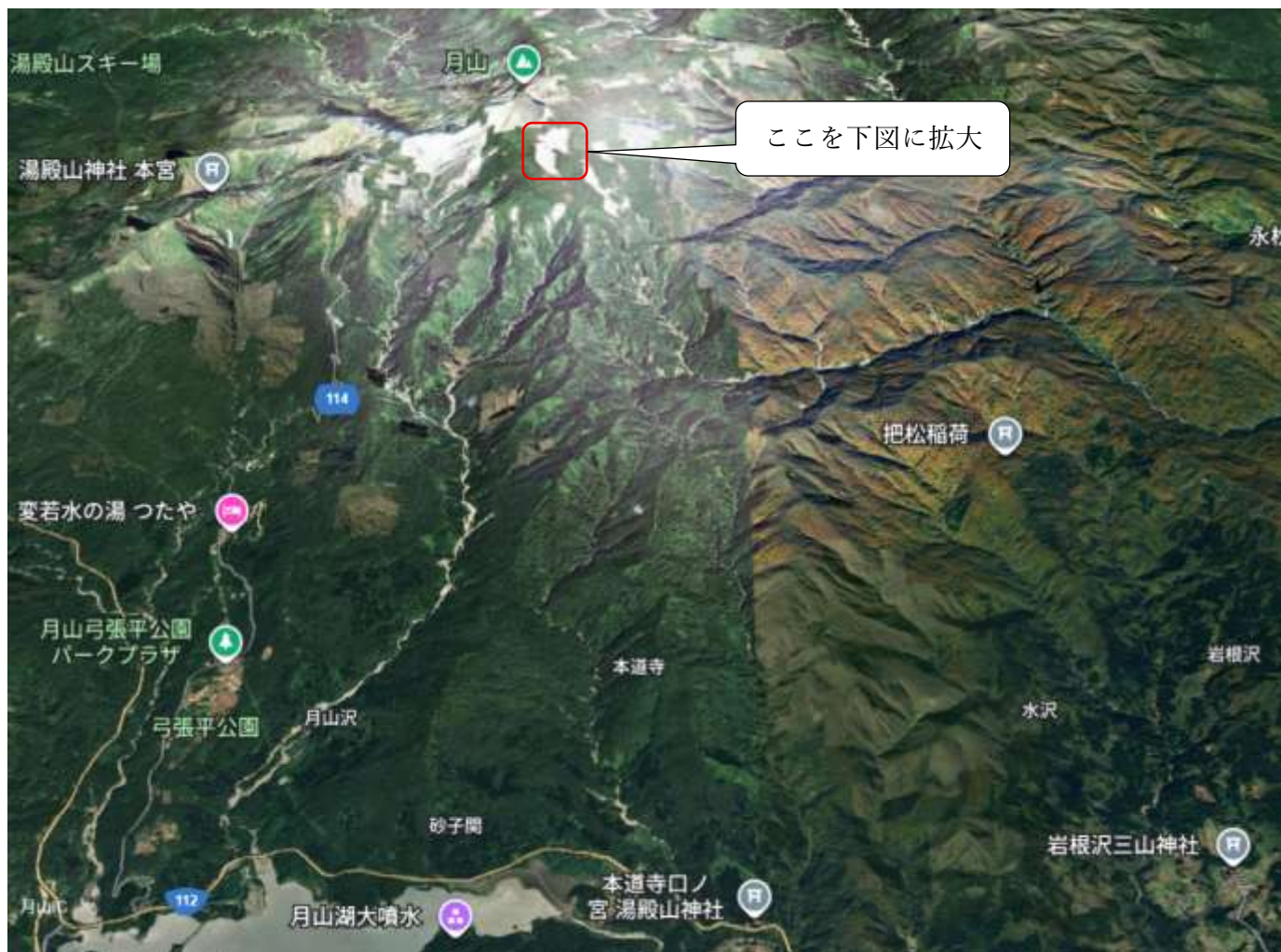
それぞれの勝手想像シナリオ全肯定の時空が待ってるぞ！

ミッション



・以って、静止画とドローン撮影動画を組
合せた観光戦略へ
・以って、静止画とドローン撮影動画を組
合せて撮影会のお遊びを
・以って、その眼光をしかと照射し、今と
悠久の時空を解剖し、総ての謎の解明を
・月山ビールには、湯殿山御宝前の霊力が
丸ごと染み渡っているのだ

図－5



※リスクマネジメントの観点から湧水点は明示していない。



本頁の画像は Google Earth から抽出・拝借したもの
(2025 年 7 月 29 日撮影か？ 公開なのか？)

私は 2022(令和 4)年以降、毎年、7 月～11 月上旬までの間、「月山の天空石橋」マーカー（スポットピン）が入っているエリアに立入って観察しているが、晩秋まで残っている残雪の場所は、左図の（水色丸印）当りである。よって、「大雪城」と呼称する時は「月山の天空石橋」西方の左図赤色囲みのエリアを指している。

「月山の天空石橋」というマーカーをクリックすると雪が消えた状態での上空写真と、さらには、T-FMOのテレビ報道にリンクされている。どのような経緯なのか、どなたが入れたのかは当方では関知・把握していない。いずれにしても、「天空石橋」はGoogle社から公認され、世界に知れ渡ったということになる。なお、その右側にある点線より東側は大蔵村である。**ここは西川町！**

「天空石橋」(大雪城) 界隈の残雪状況

「名水サミット」チラシ記述の「万年雪」に着目し、派生的(発展的)に拾ってみた

年によって、積雪、残雪の状況は変わるのは当然としても、現在でも少しは万年雪となって(残って) いるのではないか?!

2025/11/09(日)菅野大志町長投稿より拝借



Google Earth 2015/10/21より拝借



2022(R4)/10/13(木) 大沼撮影



同じ8月の1日違い、年によりこれだけの差異が生じるようだ

2023(R5)/08/01(火)、阿部剛士さんと大沼が立ち寄り(前日は清川行人小屋泊)



2025(R7)/08/02(土)、菅野大志西川町長の視察登山同行時(当日は清川行人小屋泊)



次頁は以上を1枚ものに

湯殿山大権現・月山大権現がお守りする秘所聖地一大スペクタクル／魔法のビール（水）生成プログラム
『必然的結合性』

キーワードは、

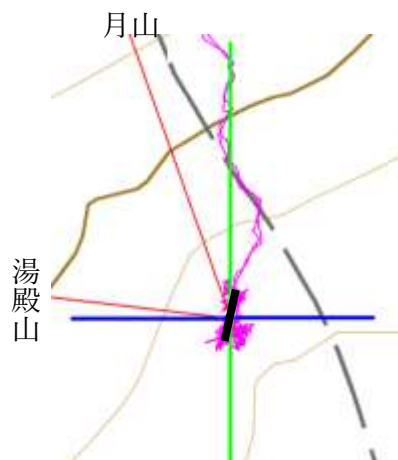
天に誘う「①奇異霊妙 湯殿山（御宝前）」
大地の水源symbol「②月山 天空石橋[大雪城]」
人智の傑作「③創造酒 月山ビール」

- ・月山ビールの古里を訪ねてみよう！
- ・製造水400年ロマンの謎を解いてみよう！

この「天・地・人」三位一体構造（華厳界シーズ胎動）が
3点セット（①②③）を誕生せしめた
隠された壮大スキームが今明かされた？



橋に立ち、両手を広げた時の顔ー視線の延長線上の西方彼方の湯殿山とぴったり一致する



ピンク色はGPSトラックログ（科学的足跡）

月山ビールと、重要原料である水生みの源(親)とのご対面を実現させたのだ
いやいや、まだまだ、なぞだらけ、何も解決していないのだ
それが余白だ。余白を埋めるのは、あなた自身だ！

出羽三山総奥の院
湯殿山（御宝前）

万年雪と讃えられた
[大雪城]
源流聖地

月山ビールの水源
(実用面)

水神様の籠る秘所
(信仰面)

『シンボル』
「天空石橋」

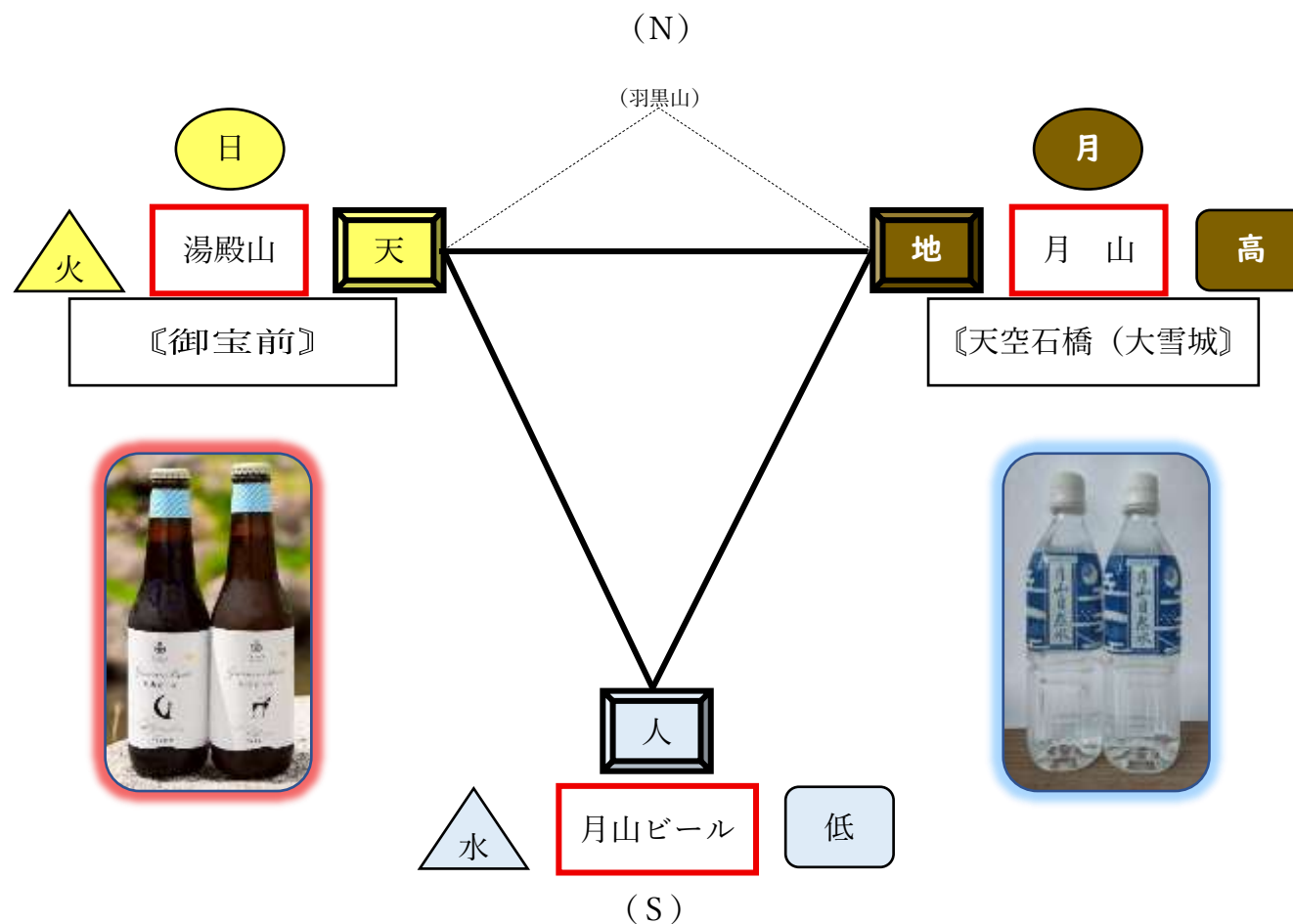


四百年の悠久
紆余曲折の水脈
大雪城の残雪を
適時に溶かす力は
御宝前の熱量だ！

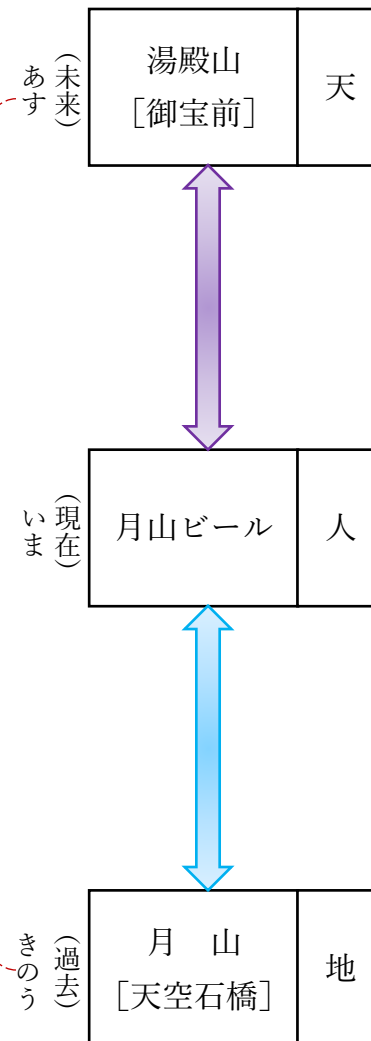


この秘所聖地一大スペクタクルは **陰陽二元セット三竦み構造** **「天×地×人」三位一体構造** /魔法スキーム

古来、穢れを落とす（祓い清め）信仰においては、二つの「水と火」が必須の対極的宝玉



* この月山ビールの かたまり 塊 は、北側の羽黒山相当（羽黒対比）である *



* 天地の自然循環に溶け込んだ人間の智的創造が絶品酒「月山ビール」を生んだ *